

多摩府中保健所感染症週報

令和5年第39週（9月25日～10月2日）



肺えもん

第39週の傾向

- 新型コロナウイルスは、39週の定点医療機関あたり報告数は減少しています。

定点医療機関あたり報告数 多摩府中 38週 9.67→39週 8.09 東京都 38週 8.89→39週 7.08

- インフルエンザの報告数は、39週も「流行注意基準」である定点あたり10.0人をこえており、流行が続いています。施設などの集団感染も多く発生しています。

定点医療機関あたり報告数 多摩府中 38週 14.94→39週 23.03 東京都 38週 12.19→39週 16.58

- 咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数が増加しています。

39週から新型コロナウイルス入院サーベイランスの報告が開始されました

コロナ患者の入院者数及び臨床情報を補足することにより、COVID-19の入院患者の発生動向や重症化の傾向を経時的に把握することを目的としています。週報最終頁に「新型コロナウイルス入院」グラフが追加されています。ご参照ください。

管内の集団感染の状況

施設	疾患	今週の発生件数
学校・教育機関	インフルエンザ	39件
	COVID-19	4件
児童福祉施設	インフルエンザ	4件
	感染性胃腸炎	1件
	その他	1件
高齢者福祉施設	COVID-19	3件
障害者福祉施設	COVID-19	1件
医療機関	-	-

※保健所が相談を受けて把握したものを集計しており、実際の数と相違がある可能性があります。

施設などで感染症の集団感染が発生した場合は保健所へご報告ください。

〈報告の目安〉

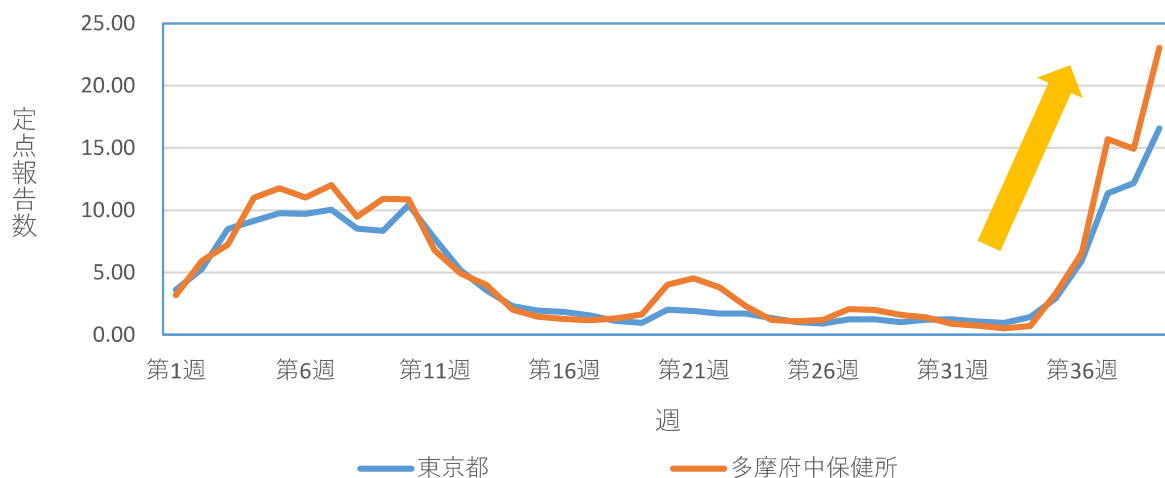
- 1 同一の感染症もしくは食中毒によるまたはそれらによると疑われる死亡者または重篤患者が1週間以内に2名以上発生した場合
- 2 同一の感染症もしくは食中毒の患者またはそれらが疑われる者が10名以上または全利用者の半数以上発生した場合
- 3 上記1、2に該当しない場合であっても、通常の発生動向を上回る感染症等の発生が疑われ、特に施設長が報告を必要と認めた場合

いずれの項目にも該当しなくても、対応にお困りのときは、感染症対策担当へご連絡ください。

★注目すべき感染症★
インフルエンザ

インフルエンザ注意報継続中!!

インフルエンザの流行が続いています。
感染対策を今一度見直してみませんか。



■ インフルエンザの感染経路は？

飛沫感染と接触感染の2種類があります。

飛沫感染は、患者の咳やくしゃみに含まれるウイルスを別の人が口や鼻から吸い込むことによって感染します。

接触感染は、ドアノブなどのウイルスの付着部位に手で触れ、そのウイルスの付着した手で鼻や口に触れることで感染します。

■ 感染予防のポイント

- こまめに手洗い、消毒をしましょう
- 咳やくしゃみがある時は、マスクを着用し、咳エチケットを心がけましょう
- 室内の換気を行い、適切な湿度（50～60%）を保ちましょう
- インフルエンザワクチンを接種しましょう
- 十分な休養とバランスのとれた栄養摂取を行いましょう



手洗い



マスク着用



換気



ワクチン



休養

<参考>

厚生労働省「インフルエンザ一問一答～みんなであって、みんなであって、みんなであって～」

http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou01/dl/leaflet20110208_01.pdf

厚生労働省「令和4年度インフルエンザQ&A」

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/infuleza/QA2022.html